

お財布と、  
体に優しい

# 暮らしの知恵

縁起物の「おせち料理」を  
みんなで食べて“福”をゲット!



お正月の料理といえば、美しく盛り付けられた「おせち料理」が代表的ですね。セチというのは、漢字では“節”。重要な儀式が行われる時を意味し、そのために作られるのが節料理だったと言われて

います。本来は一年にいろんな節があったので、内容は違っても、年に何回も節料理

は作られていました。しかし、お正月の節が最初であり、最も重要だったので、その料理が代表となり、丁寧な表現の“おせち”になったのだそうです。

もともと「おせち料理」は、お正月の神様=年神様へのお供え物ですが、それを人間がいただくことで、家族の繁栄を願

う縁起物の料理でもあります。形式よりも、お正月に用意したごちそうをみんなで分け合って食べ、年神様の“福”を受け取ることに大きな意味があるかもしれませんね。

堅苦しく考えず、わが家流の料理を準備して、家族みんなで楽しい食卓を囲みたいですね♪



## 今月の花図鑑

### 門松に飾られるお正月の花



縁起の良い花といえば、松・竹・梅。これらは「歳寒三友(厳寒三友)」と称され、寒い冬でも葉が枯れないため、枯れない強さからお正月の「縁起物」として尊ばれてきました。

松は、常緑樹で1年中青いため「永遠の命」の象徴です。また、松の中には樹齢数千年というものもあり、不老長寿と結びつけられるため、縁起が良いとされています。

竹は、寒い冬にも葉を落とさずに青々としています。その上、強風や嵐の中でも折れないたずまいや、曲がらずに真っすぐ成長する姿から、「誠実な心」や「強い志」などの象徴です。

梅は、早春に他の花よりに先駆けて咲くため、「出世」「開運」の象徴です。また、厳しい寒さの中でも清らかな花を咲かせ、芳香を漂わせることから縁起の良いものとされます。



雙柳館 浅川道場  
館長 浅川裕茲

私、登田が通う  
剣道の師匠に、  
日ごろ子供達へ  
お話している徒然を  
書いて頂いてます。  
子どもの汗と笑顔は  
日本の宝  
あけましておめでとう  
ございます。本年もよろ  
しくお願ひします。  
先日、中部地区剣道少年団研修会  
が行われ、中部地区8県の各県の予  
選にて選ばれた小学生8名、中学生8名が「剣  
道を通して学んだこと」を発表しました。そ  
の発表者全員に共通する点がありました。そ  
れは、みな一生懸命に努力したうえで、挫折  
を味わっていることです。目標に向かって一  
生懸命に汗を流し、それでも叶わない経験は  
可哀想に思えますが、その経験を糧に今を力  
強く生きていく子どもの姿がありました。  
子どもを育てる環境において、人的にも、  
物的にもつまずく小石まで取り除くような、  
バリアフリー化は育ちを阻害すると思いま  
す。私が幼少期のころ(昭和20年代後半)は  
まだ日本国全体が経済的に貧しく、バナナや  
卵でさえ高級品の時代です。子どもも自然に  
我慢したり工夫したりする力を身に付けてい  
きました。しかし現代におい  
て、いくら子どものためにと  
はいえ、車や家電のない生活  
に戻すことは非現実的です。  
厳しい環境は子どもによい刺  
激を与えますが、子どもが主  
体であることが大切です。そ  
の場で仲間同士でもまれあう  
ことで子ども達は生きる力を  
身に付けていきます。  
つまずいたり転んだりする  
経験をしていない子は、受け  
身を取れないだけでなく、転ん  
だことに気が付かぬようにな  
ってしまいます。今の日本  
の子ども達が、人生において  
安全に転ぶことができるのは  
スポーツの場しかなくなって  
しまったように思います。剣  
道が育ちに万能だとは申しま  
せん。お子さんがたくさん転  
ぶことができる環境を作って  
あげて下さい。  
剣道を通じて、強く、豊か  
に育つことを願ひます。



雙柳館 浅川道場 岐阜市前一色 2-2-10  
お問い合わせは **058-247-3676**  
見学をご希望の方はご連絡ください。



副館長  
浅川正堂

稽古の様子や  
開催場所につ  
いてはコチラ  
▶▶▶▶▶



# 道

